

小中学校の地域連携に係る学校評価の結果（R6年度末）

そう思う:4 ややそう思う:3 あまりそう思わない:2
 そう思わない:1 分からない:0

肯定的回答：

○ 学校は地域の人や素材を活用した教育活動に積極的に取り組んでいる。

	保護者					学校運営協議会委員				
	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
通小(人)	5	1	0	0	0	9	2	0	0	0
向陽小(%)	53	32	11	2	2	83	17	0	0	0
菱中(平均値)	3.5 (0～4評価の平均値)									

○ 学校は地域や家庭からの相談に誠意をもって対応している

	保護者					学校運営協議会委員				
	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
通小(人)	4	2	0	0	0	9	1	0	0	1
浅田小(%)	87					100				

○ 学校は保護者・地域と連携した教育に努めているか

	保護者					学校運営協議会委員				
	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
深川小(%)	35	57	1	0	6					
深川中(%)						42	42	12	4	0

○ 子どもは地域の活用や行事に進んで参加している。

	保護者					学校運営協議会委員				
	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
俵山小(%)	52	39	9	0	0	74	26	0	0	0
神田小(%)	100					91.7				
深川中(%)	21	39	33	6	0	58	21	11	0	11

○ 子どもに地域を愛する心が育っている。

	保護者					学校運営協議会委員				
	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
俵山小(%)	46	42	13	0	0	74	26	0	0	0

ふるさとの文化活動に寄せて

先人から学び、郷土・長門を誇れる人の育成を目指して

長門市教育委員会

教育長 伊藤 充 哉



市民・会員の皆様には平素から長門市教育の振興にご理解・ご協力を賜っておりますこと、心よりお礼申し上げます。

さて、長門市教育委員会（以下、市教育委員会という）では、本市教育、学術及び文化の振興に関する総合的な方向性を示す「長門市教育大綱」におきまして、「先人から学び、郷土・長門を誇れる人」を力点として掲げ、子どもたちに郷土の歴史や文化を確実に学ばせていくことを重要視する方向性を示させていただいております。

こうした方向性を確実なものにしていくための取組の一つとして、市教育委員会では、かねてより小学生3・4年生の社会科や総合的な学習での使用を目途とした社会科副読本『わたしたちのまち ながと』を制作・提供しています。



『わたしたちのまち
ながと』

令和4年改訂版

学習指導要領の改訂や社会情勢の変化に対応するため5年に1度のペースで改訂を実施しています。改訂作業に当たっては、小学校社会科部会の教員や市教育委員会事務局職員自らが取材や編集を行っており、質の高い内容に仕上がっているものと自負しております。

この改訂作業に携わった小学校社会科部会の教員は、2022（令和4）年9月にオープンしました長門市総合文化財センター「ヒストリアながと」の社会科学習用展示企画に参画するなど、本市の自然・歴史・文化の継承に積極的に関わっています。

また、2022（令和4）年度の改訂版から『わたしたちのまち ながと』の紙面をデジタル化し、一人一台端末を使って学習に活用できるような新たな取組も行ったところです。

この『わたしたちのまち ながと』で取り扱う内容は以下のとおりです。

- 1 長門市の様子（市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、公共施設の場所と働き）
- 2 長門市に見られる生産や販売の仕事
- 3 地域の安全を守る働き（消防、警察）
- 4 長門市の移り変わり（交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違い）

- 5 人々の健康や生活環境を支える事業
(水道、電気、ガス、ごみ処理)
- 6 自然災害から人々を守る活動
- 7 長門市の伝統や文化、先人の働き(文化財、
年中行事、地域の発展に尽くした先人)

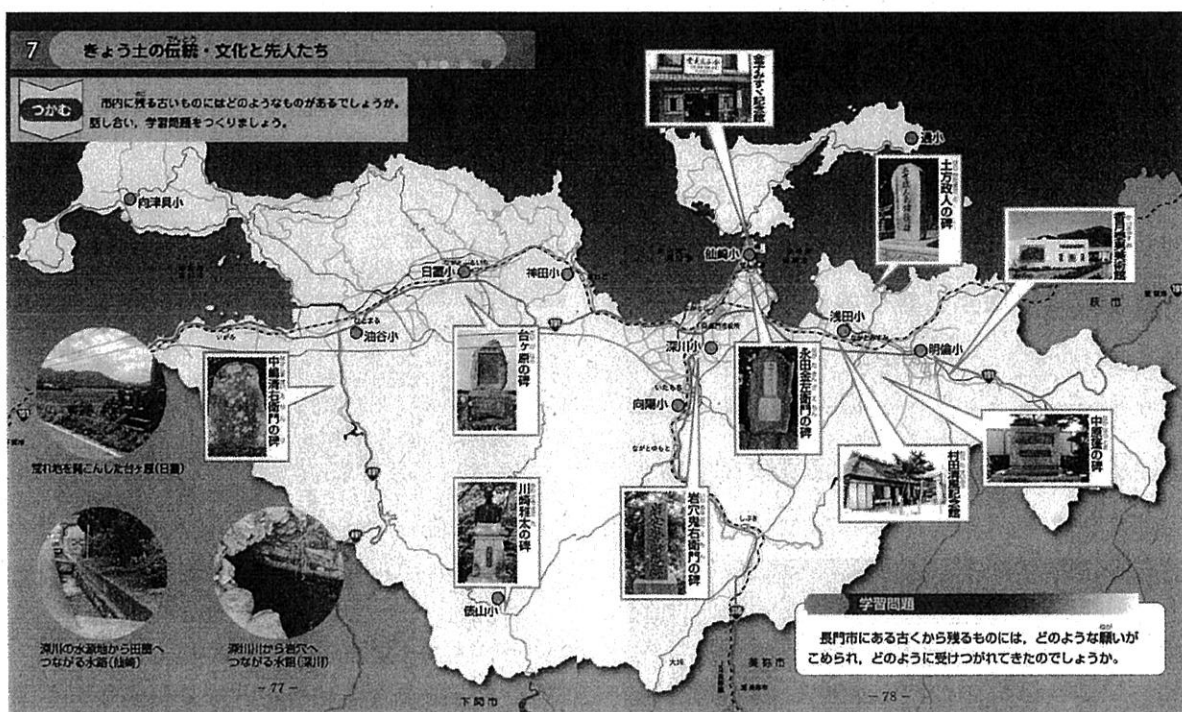
小学校学習指導要領を踏まえた多岐にわたる内容となっていますが、本寄稿のテーマである「先人から学び、郷土・長門を誇れる人の育成」という点に深く関与する第7章「長門市の伝統や文化、先人の働き」に記載されている主な内容を列挙してみます。



サバー送り (『わたしたちのまち ながと』より引用)



三隅の腰輪踊 (『わたしたちのまち ながと』より引用)



『わたしたちのまち ながと』第7章「長門市の伝統や文化、先人の働き」

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| ■ 通地区「早川家住宅」 | ■ 三隅の腰輪踊 | ■ 永田金左衛門の用水路 |
| ■ 俵山地区「女歌舞伎」 | ■ 滝坂神楽舞 | ■ 俵山の先駆者 川崎雅太 |
| ■ 仙崎地区「祇園祭り」 | ■ ～通水路をつくる～ | ■ 野波瀬のためにつくした |
| ■ 長門市の文化財一覧 | ■ 岩穴鬼右衛門 | ■ 土方政人 |
| ■ 北浦地方のサバー送り | ■ 金子みすゞ | ■ 日置の荒地の開墾 |
| ■ 通鯨唄 | ■ 香月泰男 | ■ 台ヶ原 |
| ■ 瀬戸崎組鯨唄 | ■ 中原蓬 山口県初の女医 | ■ 油谷の道路開発の先駆者 |
| ■ 赤崎神社・楽踊り | ■ 村田清風 | ■ 中島清右衛門 |

ふるさとの文化活動に寄せて

『わたしたちのまち ながと』の活用をとおして、子どもたちは郷土・長門の伝統や文化、先人の働きについて学び、さらに、それぞれの学校において、テーマを絞って探究的または、体験的な学びを繰り返しています。ここで、いくつかの実践例を紹介します。

【通小学校 鯨唄の伝承】

通小学校においては、鯨唄保存会の方々と連携して長門市指定無形文化財である鯨唄に取り組んでいます。卒業生である中学生が鯨唄発表の際には駆けつけて、自発的に参加しています。まさに、地域の伝統が子どもたちによって受け継がれている典型的な例ではないでしょうか。

また、ここ数年、鯨唄の伝承に加えて、通小独自のカリキュラム「通 鯨・海・街学カリキュラム」を作成し、通地域の歴史、人をテーマとする探究的な学びを繰り返しています。



鯨唄発表（卒業生も駆けつけて参加）

【向陽小学校 萩焼制作】

校区に山口県指定史跡である萩焼深川古窯群を有する向陽小学校では、毎年、子

どもたちが卒業生でもある深川窯の作家の方々のご指導のもと、作陶活動を継続しています。

2024（令和6）年度には、深川窯の作家の方々に加えて小石原焼に革新の風を起こされた人間国宝の福島善三さんを向陽小学校にお迎えして作陶の会が開催されました。

自分たちの郷土で脈々と紡がれてきた文化を、体験活動をとおして味わうという貴重な時間になっています。



作陶の会（作家の方々からご指導いただく）

【明倫小学校 滝坂神楽舞体験】

山口県指定無形文化財である滝坂神楽舞の体験活動を3・4年生が総合的な学習の一環として取り組んでいます。後継者不足に悩まれる保存会の方々の思いと地域の伝統・文化を体験したいという子どもたちと



神楽舞を体験（保存会の方々とともに）

の願いが合致し、学校の体育館を使って体験活動が行われています。



横笛を体験（保存会の方々とともに）

【浅田小学校 村田清風に学ぶ】

浅田小学校では、子どもたちが「村田清風先生」と尊敬と親しみをもって村田清風のことを呼んでいます。3年生で国指定史跡である村田清風旧宅を訪れ、5・6年生になると、村田清風の名文を詩吟で表現する学習に取り組んでいます。



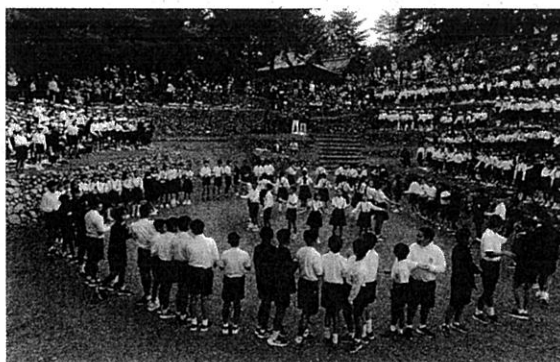
村田清風旧宅見学（村田清風を知ろう）



村田清風の名文を詩吟で表現
（浴田和拓さんを講師に迎えて）

【深川小学校 棧敷集会】

国指定重要有形民俗文化財である赤崎神社楽棧敷に隣接する深川小学校では、日頃の学習の成果の発表会に楽棧敷を活用しています。深川の子どもたちにとって、大切な場所となっています。きっと、将来、この棧敷の価値を理解するとき、改めて、郷土を誇らしく思うことでしょう。



棧敷集会（すり鉢状の地形で音響抜群）

激減する子どもの数。止まらない若者の市外流出。

今、教育に求められているのは、子どもたちが高い志をもち、多様な人々と協働しながら、主体的に未来を切り拓いていく力をつけることができるようにすること。そして、その力を様々な形で郷土長門市の発展に活かして欲しいと願っています。

そのためにも、子どもたちに郷土の歴史や文化を存分に学べる環境を提供し、「先人から学び、郷土・長門を誇れる人」の育成を目指してまいります。

長門文化協会の皆様には、今後とも、子どもたちの豊かな学びをお支えいただきますよう、お願いいたします。